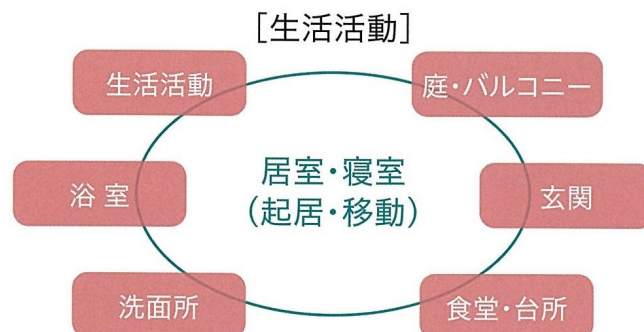


01 屋内移動の確認ポイント

居室から洗面所に移動して顔を洗う、トイレに移動して排泄する、食堂に移動して食事をする、お風呂に移動して入浴するなど、日常生活では部屋や廊下などの移動が不可欠です。

人の手を借りず、自分の好きな時に安全に移動できることは、自立的に生活するうえで最も大切なことです。

また、歩行が困難で移動(生活)範囲が狭まると活動量が減り、心身機能が低下します。適切な歩行補助具により安全に且つ安心して屋内移動を可能にし、利用者が積極的に生活できるよう支援しましょう。



① 生活動作ごとの動線と移動方法

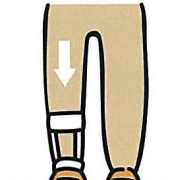
日本家屋は狭いため、杖や歩行器を使うよりも伝い歩きの方が安全ことがあります。安定して伝える家具や手すりの配置等の環境整備は、歩行の安全性を高めるのに有効です。歩行補助具のみの利用にこだわらずに、生活動作ごとに動線を確認し、より安全な方法を考えることが大切です。

また、パーキンソン病、関節リウマチなどの症状により日中と夜間では体調が異なる日内変動、あるいは日により体調が異なる日差変動にも留意が必要です。脳卒中による片麻痺で下肢装具を使用している場合、夜間のトイレでは、装具の装着に時間がかかるため介助されることがあります。尿瓶やポータブルトイレの利用に切り替えたり、車いす移動に変更したりするなどの工夫が必要です。生活の時間帯や生活動作ごとに利用者が安全で安心できる移動方法を検討しましょう。

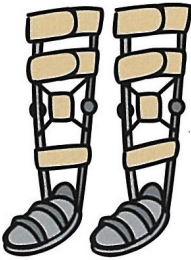
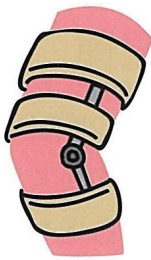


コラム3 下肢装具の目的と種類

●下肢装具の目的

01  足関節・膝関節の 変形・拘縮予防	02  体重の支持	03  左右対称性の 姿勢獲得	04  歩行の改善
--	---	--	---

●下肢装具の種類

01  〔長下肢装具〕 大腿部からつま先まで固定する	02  〔膝装具〕 膝部分を固定する	03  金属製 プラスチック製 〔短下肢装具〕 膝下からつま先までを固定する 片麻痺者の歩行によく使用される
---	---	---

短下肢装具は、材質によりプラスチック製と金属製に大別されます。プラスチック製は、軽量なので装着しやすく、プラスチックの弾性やたわみといった特性を利用して、ダイナミックな歩行を支援します。金属製は支柱が金属のため、ホールド力が高く、足関節に強固な固定が必要な場合に用いられます。